

紋 高 養 通 信

「働く力を身につける現場実習」

本校の生徒たちが卒業した後は、何らかの形で仕事をする生活を送ることになります。そのため学校では作業学習などに取り組み、一人一人に応じた「仕事をする生活に必要な力」を身につけることを目指しています。一口に「仕事をする生活に必要な力」と言っても、実に幅広く多様な力が必要です。何よりも学校の中だけの学習では、やはり限界があります。そこで、日ごろの学習で培ってきた力を腕試しするのが現場実習です。

現場実習では学校から外に出て、実際の職場で仕事をさせていただきます。校内での学習に比べると、社会の雰囲気を感じながら、将来の生活により近い環境で仕事をすることができます。緊張感の中での実習は、少しずつ生徒たちをステップアップへと導いてくれます。今年も市内の水産加工場や牧場、スーパー、木工場、飲食店などに実習先として協力いただいています。

実習期間は1年生が1週間、2年生は2週間です。回数も各学期に1回ありますので、1年間で3回経験することになります。1～2年生の現場実習は、日ごろの学習の成果と



課題を確かめるよい機会です。3年生の場合は1～2年生とは異なり、2学期に1回だけ、8週間の現場実習を行います。この実習は就職試験的な要素が強く、3年間の学習の総決算であり、自分の将来の生活を定める真剣勝負の実習です。

さて、10月には1年生の2回目の現場実習があります。2年生は9月中旬に2回目の実習を終え、現在は宿泊研修の学習をしています。そして3年生は、8週間の現場実習の5週間目が終わり、後半戦に入ったところです。進級や卒業に向けて毎日少しずつ積み重ねた力が、つぼみを作り大きく花開いていくのが楽しみです。

紋別養護学校通信

「楽しかった合同運動会」

8月26日(金)に紋別養護学校グラウンドで紋別市特別支援教育研究協議会が主催した合同運動会が行われました。参加したのは市内小学校、中学校の特別支援学級8校、市外小学校特別支援学級3校、紋別養護学校の小学生、中学生、高校生の児童生徒と仲良し作業所の皆さんで総勢57名でした。台風が近づいて来ていましたが、雨が降ることもなく、体を動かすには暑くも寒くもない絶好の天候に恵まれ、大勢の応援者の見守るなか盛大に行われました。

赤、黄、青、緑の4チームに分かれて、8種目の競技を競い合い、なかでも「デカパンツリレー」ではペアになって一緒に走ったり、「こぼさぬように」では1つのびんを一杯にしようとしてチームが一丸となって頑張ることができました。閉会式で優勝・準優勝のトロフィーを受け取るチーム代表生徒



のキラキラ輝いた目や表情が印象的でした。

来年また再会し、皆で競技を楽しみたいですね。社会福祉協議会の方々、ボランティアさん、手をつなぐ親の会の皆様、応援にかけつけてくださった保護者の皆様どうもありがとうございました。